

2021 年 8 月 26 日

株式会社マーキュリアホールディングス

Airborne Capital Limited との合併契約締結のお知らせ

株式会社マーキュリアホールディングス（以下、「当社」といいます。）を持株会社とする株式会社マーキュリアインベストメントは、Airborne Capital Limited（以下、「Airborne」といいます。）との間で、日本で設立した株式会社マーキュリアエアボーンキャピタル（以下、「JV」といいます。）の運営にかかる合併契約を締結したことをお知らせします。JV は、航空機リース事業への参画を求める日本の事業会社を対象とし、変貌する世界の航空産業の機材調達戦略と日本の航空機投資家の架け橋となることを目指します。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックを経ても、世界経済の成長に伴う長期的な航空需要の成長トレンドは持続すると考えられ、航空機投資は世界中の長期投資家にとって魅力的な投資機会を提供し続けています。世界の航空会社の経営戦略がよりアセットライトを指向する中、投資家が果たす役割は、今後ますます高まっていくものと思われます。

当社グループ[※]は、東京、北京、香港、バンコクにオフィスを構え、日本および海外の投資家に対して、成長投資、バイアウト投資、実物資産投資などの革新的なソリューションを提供し、それぞれの投資戦略に基づく新規ファンドを組成して運用することで、AUM 約 20 億米ドルに及ぶマルチストラテジーのファンド運用会社としての基盤を確立しています。

Airborne は、アイルランドに本社を置き、ダブリン、シャノン、ロンドン、ニューヨーク、モントリオール、香港、ソウル、東京に拠点を置く、航空機リースの組成・管理を専門とする企業です。Airborne は、航空機リース・管理業務に関する経験豊富なメンバーにより 2017 年に設立され、日本の投資家を含むグローバルな投資家に対して積極的なビジネス展開を行い、現在では約 10 億米ドルの航空機資産を管理しています。

当社グループでは、Airborne との JV は、日本の航空機投資家によるグローバルマーケットへのアクセスをより強化し、当社グループにおけるクロスボーダー・オルタナティブ投資における専門分野をさらに拡充できると考えております。

当社代表取締役 豊島俊弘のコメント「当社グループは本年 7 月 1 日に株式会社マーキュリアホールディングスを親会社とする持ち株会社体制へと移行し、マーキュリアインベストメントグループとして新たにスタートしました。本 JV は持ち株会社体制のもとでの初の合併事業であり、マーキュリアインベストメントグループの事業展開を加速する

第一歩として期待しています。」

Airborne CEO Ramki Sundaram 氏のコメント「Airborne は、この大切な事業をマーキュリアインベストメントグループと提携できることを嬉しく思います。当社は日本にオフィスを開設して以来、ビジネスの機会を着実にとらえてきました。この合併事業によりその戦略が更に強化されることを確信しています。」

※当社グループについては[こちら](#)をご参照ください。

なお、本件が当社の連結業績に与える影響は軽微であります。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

【Airborne Capital Limited の概要】

会社名 : Airborne Capital Limited
本社所在地 : 5th Floor, The Exchange, George's Docks, IFSC, Dublin 1, Ireland
事業内容 : 航空機リース・航空機資産管理に関する関連業務
代表者 : CEO Ramki Sundaram
HP : www.airbornecapital.aero

私たちは、既存の枠組みや国境を越える「クロスボーダー」をコンセプトに投資を行っています。

※本リリースに関するお問い合わせ先 :

株式会社マーキュリアホールディングス

事業企画部

Tel : 03-3500-9870

Mail : info@mercuria-hd.jp

HP : <https://mercuria-hd.jp>